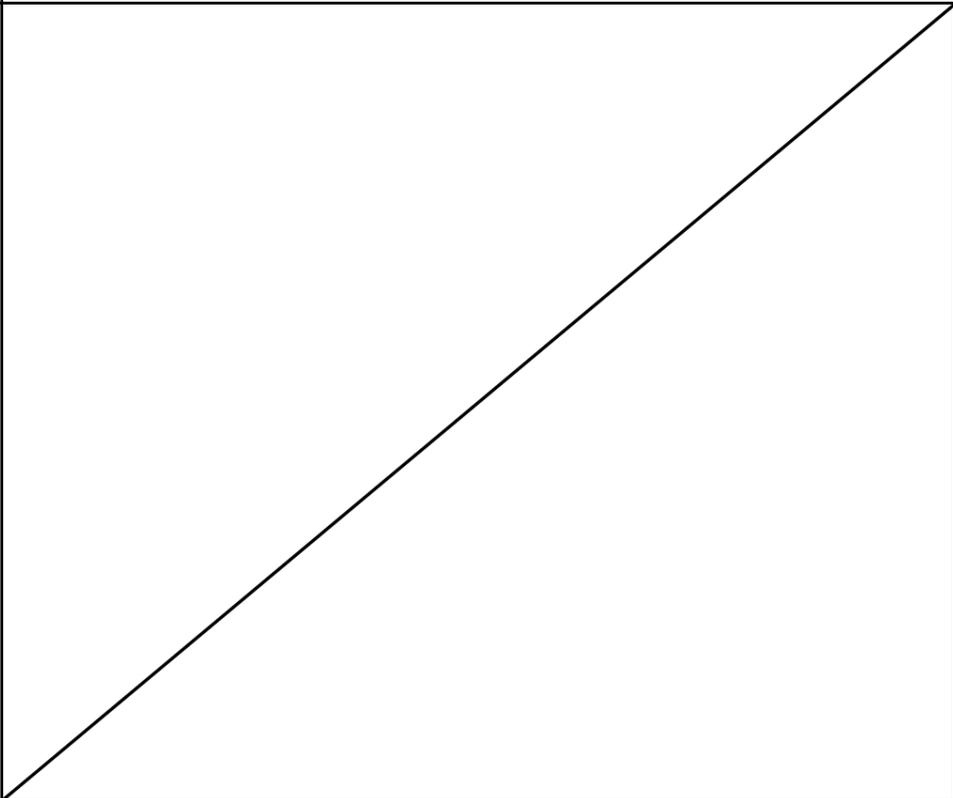
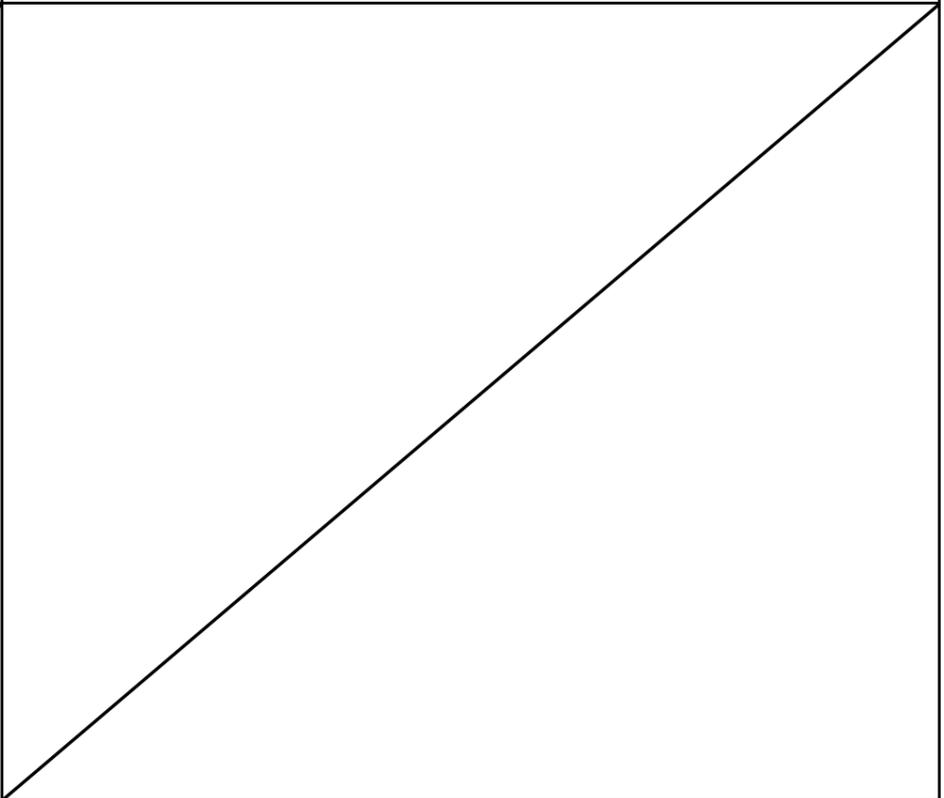


第3期中期計画・令和6年度計画・令和7年度計画対比表

第3期中期計画	令和6年度計画	令和7年度計画												
<p>前文</p> <p>当院は、千葉県北東部における基幹病院として、「すべては患者さんのために」の基本理念のもと地域の医療機関、介護・福祉施設等と連携を図りながら、急性期医療を主体とした高度医療や24時間365日対応の救急医療を提供している。変化する社会情勢や医療施策等に対し、より柔軟かつ的確に対応するため2016年4月より運営形態を地方独立行政法人へ転換し、4年毎の中期計画を定めている。</p> <p>第1期中期計画においては、「運営体制の確立」が概ね達成され、第2期中期計画では、「安定した経営基盤の確立」と「さらなる発展」に向けての取り組みを盛り込み計画を策定した。しかしながら、第2期中期計画期間はCOVID-19の流行拡大と同時に開始され、緊急事態宣言の発出による社会全体の混乱に加え、患者の受診抑制や陽性患者受入のための空床確保等により病院運営は混乱し、経営的にも大きな影響を受けるに至っている。現在でもCOVID-19による混乱は続いており終息の見通しはたっていない状況である。</p> <p>こうした状況に加え、人口減少・労働力不足問題やエネルギーコストをはじめとした物価高騰、社会保障費高騰による国の医療費抑制政策等、病院を取り巻く環境は厳しさを増している。このような環境下でも広域基幹型急性期病院としての役目を果たすべく、医療と経営の質向上に努めるとともに「持続可能な医療提供体制」の構築に向け第3期中期計画を策定し、計画達成のため職員一丸となり取り組んでいくものとする。</p>														
<p>第1 中期計画の期間</p> <p>令和6年4月1日から令和10年3月31日までの4年間とする。</p>	<p>第1 年度計画の期間</p> <p>令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間とする。</p>	<p>第1 年度計画の期間</p> <p>令和7年4月1日から令和8年3月31日までの1年間とする。</p>												
<p>第2 地域住民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置</p>	<p>第2 地域住民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置</p>	<p>第2 地域住民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置</p>												
<p>1 広域基幹型急性期病院としての機能の充実</p> <p>(1) 地域連携と機能分担の更なる推進</p> <p>ア 地域医療構想調整会議等の議論を踏まえ、回復期リハビリテーション病床を設置した病院との連携体制を強化するとともに、他の病院についても連携強化と機能分化を促進する。</p> <p>イ 地域医療支援病院として、近隣医療機関等との連携強化に努め、紹介、逆紹介及び検査機器等の共同利用を引き続き推進する。</p> <p>ウ 地域医療支援センターを活用して、研修医や新人看護師をはじめ、地域医療従事者等の知識・技術の習得、安全性を向上させるための研修・訓練などを実施する。</p> <p>(2) 救急医療体制の充実</p> <p>ア 重症患者を受け入れる救命救急センターとして機能の充実を図り、「救命救急センター充実段階評価」の評価を維持する。</p> <table border="1" data-bbox="163 1806 905 1890"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救命救急センター充実段階評価</td> <td>S評価</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標値	救命救急センター充実段階評価	S評価	<p>1 広域基幹型急性期病院としての機能の充実</p> <p>(1) 地域連携と機能分担の更なる推進</p> <p>ア 特に回復期リハビリテーション病棟を設置した病院との連携を推進する。また、医療圏内の医療機関と当院からの転院受け入れ基準を明確化することにより他院との連携強化に努め、病院間の機能分化を促進する。</p> <p>イ 地域医療支援病院として、近隣医療機関等との連携強化に努め、紹介、逆紹介及び検査機器等の共同利用を引き続き推進する。</p> <p>ウ 地域医療支援センターを活用して、研修医や新人看護師をはじめ、地域医療従事者等の知識・技術の習得、安全性を向上させるための研修・訓練などを実施する。</p> <p>(2) 救急医療体制の充実</p> <p>ア 重症患者を受け入れる救命救急センターとして機能の充実を図り、「救命救急センター充実段階評価」の評価を維持する。</p> <table border="1" data-bbox="1009 1806 1751 1890"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救命救急センター充実段階評価</td> <td>S評価</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標値	救命救急センター充実段階評価	S評価	<p>1 広域基幹型急性期病院としての機能の充実</p> <p>(1) 地域連携と機能分担の更なる推進</p> <p>ア 特に回復期リハビリテーション病棟を設置した病院との連携を推進する。また、医療圏内の医療機関と当院からの転院受け入れ基準を明確化することにより他院との連携強化に努め、病院間の機能分化を促進する。</p> <p>イ 地域医療支援病院として、近隣医療機関等との連携強化に努め、紹介、逆紹介及び検査機器等の共同利用を引き続き推進する。</p> <p>ウ 地域医療支援センターを活用して、研修医や新人看護師をはじめ、地域医療従事者等の知識・技術の習得、安全性を向上させるための研修・訓練などを実施する。</p> <p>(2) 救急医療体制の充実</p> <p>ア 重症患者を受け入れる救命救急センターとして機能の充実を図り、「救命救急センター充実段階評価」の評価を維持する。</p> <table border="1" data-bbox="1958 1806 2700 1890"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救命救急センター充実段階評価</td> <td>S評価</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標値	救命救急センター充実段階評価	S評価
項目	目標値													
救命救急センター充実段階評価	S評価													
項目	目標値													
救命救急センター充実段階評価	S評価													
項目	目標値													
救命救急センター充実段階評価	S評価													

第3期中期計画	令和6年度計画	令和7年度計画																																				
<p>イ 24時間365日可能な限り患者を受け入れる体制を維持する。</p> <table border="1" data-bbox="172 170 908 254"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車・ホットライン応需率</td> <td>90.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 1次から3次までの患者が来院する救命救急センターの効率的な運用に努め、近隣医療機関との連携強化及び院内多職種との連携に取り組む。</p>	項目	目標値	救急車・ホットライン応需率	90.0%以上	<p>イ 医師の働き方改革に適切に対応するとともに、24時間365日可能な限り患者を受け入れる体制を維持する。</p> <table border="1" data-bbox="1012 170 1760 254"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車・ホットライン応需率</td> <td>90.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 1次から3次までの患者が来院する救命救急センターの効率的な運用に努め、近隣医療機関との連携強化及び院内多職種との連携に取り組む。</p>	項目	目標値	救急車・ホットライン応需率	90.0%以上	<p>イ 医師の働き方改革に適切に対応するとともに、24時間365日可能な限り患者を受け入れる体制を維持する。</p> <table border="1" data-bbox="1961 170 2745 254"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車・ホットライン応需率</td> <td>90.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 1次から3次までの患者が来院する救命救急センターの効率的な運用に努め、近隣医療機関との連携強化及び院内多職種との連携に取り組む。</p>	項目	目標値	救急車・ホットライン応需率	90.0%以上																								
項目	目標値																																					
救急車・ホットライン応需率	90.0%以上																																					
項目	目標値																																					
救急車・ホットライン応需率	90.0%以上																																					
項目	目標値																																					
救急車・ホットライン応需率	90.0%以上																																					
<p>(3) 高度医療への取組</p> <p>ア 高度急性期病院として先進医療技術の積極的な導入を進めるとともに、資金計画に基づいた医療機器の整備を実施する。</p> <p>イ 内視鏡下手術支援ロボットの2台目増設による効率的な稼働に努めるとともに、低侵襲な治療を推進し患者の早期回復、早期退院に努める。</p> <table border="1" data-bbox="160 606 926 871"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値 (各年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡下手術支援ロボット</td> <td>150件以上</td> </tr> <tr> <td>TAVI (経皮的動脈弁置換術)</td> <td>50件以上</td> </tr> <tr> <td>Watchman (経皮的左心耳閉鎖術)</td> <td>25件以上</td> </tr> <tr> <td>MitraClip (経皮的僧帽弁接合不全修復術)</td> <td>25件以上</td> </tr> <tr> <td>IMPELLA (補助循環用ポンプカテ)</td> <td>20件以上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標値 (各年度)	内視鏡下手術支援ロボット	150件以上	TAVI (経皮的動脈弁置換術)	50件以上	Watchman (経皮的左心耳閉鎖術)	25件以上	MitraClip (経皮的僧帽弁接合不全修復術)	25件以上	IMPELLA (補助循環用ポンプカテ)	20件以上	<p>(3) 高度医療への取組</p> <p>ア 高度急性期病院として先進医療技術の積極的な導入を進めるとともに、資金計画に基づいた医療機器の整備を実施する。</p> <p>イ 内視鏡下手術支援ロボットの2台体制による効率的な稼働に努めるとともに、低侵襲な治療を推進し患者の早期回復、早期退院に努める。</p> <table border="1" data-bbox="1012 606 1760 871"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡下手術支援ロボット</td> <td>150件以上</td> </tr> <tr> <td>TAVI (経皮的動脈弁置換術)</td> <td>50件以上</td> </tr> <tr> <td>Watchman (経皮的左心耳閉鎖術)</td> <td>25件以上</td> </tr> <tr> <td>MitraClip (経皮的僧帽弁接合不全修復術)</td> <td>25件以上</td> </tr> <tr> <td>IMPELLA (補助循環用ポンプカテ)</td> <td>20件以上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標値	内視鏡下手術支援ロボット	150件以上	TAVI (経皮的動脈弁置換術)	50件以上	Watchman (経皮的左心耳閉鎖術)	25件以上	MitraClip (経皮的僧帽弁接合不全修復術)	25件以上	IMPELLA (補助循環用ポンプカテ)	20件以上	<p>(3) 高度医療への取組</p> <p>ア 高度急性期病院として先進医療技術の積極的な導入を進めるとともに、資金計画に基づいた医療機器の整備を実施する。</p> <p>イ 内視鏡下手術支援ロボットの2台体制による効率的な稼働に努めるとともに、低侵襲な治療を推進し患者の早期回復、早期退院に努める。</p> <table border="1" data-bbox="1961 596 2757 863"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡下手術支援ロボット (※)</td> <td>300件以上</td> </tr> <tr> <td>TAVI (経皮的動脈弁置換術)</td> <td>50件以上</td> </tr> <tr> <td>Watchman (経皮的左心耳閉鎖術)</td> <td>25件以上</td> </tr> <tr> <td>MitraClip (経皮的僧帽弁接合不全修復術)</td> <td>25件以上</td> </tr> <tr> <td>IMPELLA (補助循環用ポンプカテ)</td> <td>20件以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中期計画では150件以上</p>	項目	目標値	内視鏡下手術支援ロボット (※)	300件以上	TAVI (経皮的動脈弁置換術)	50件以上	Watchman (経皮的左心耳閉鎖術)	25件以上	MitraClip (経皮的僧帽弁接合不全修復術)	25件以上	IMPELLA (補助循環用ポンプカテ)	20件以上
項目	目標値 (各年度)																																					
内視鏡下手術支援ロボット	150件以上																																					
TAVI (経皮的動脈弁置換術)	50件以上																																					
Watchman (経皮的左心耳閉鎖術)	25件以上																																					
MitraClip (経皮的僧帽弁接合不全修復術)	25件以上																																					
IMPELLA (補助循環用ポンプカテ)	20件以上																																					
項目	目標値																																					
内視鏡下手術支援ロボット	150件以上																																					
TAVI (経皮的動脈弁置換術)	50件以上																																					
Watchman (経皮的左心耳閉鎖術)	25件以上																																					
MitraClip (経皮的僧帽弁接合不全修復術)	25件以上																																					
IMPELLA (補助循環用ポンプカテ)	20件以上																																					
項目	目標値																																					
内視鏡下手術支援ロボット (※)	300件以上																																					
TAVI (経皮的動脈弁置換術)	50件以上																																					
Watchman (経皮的左心耳閉鎖術)	25件以上																																					
MitraClip (経皮的僧帽弁接合不全修復術)	25件以上																																					
IMPELLA (補助循環用ポンプカテ)	20件以上																																					
<p>(4) 5疾病に対する取組</p> <p>ア がん</p> <p>① がんゲノム医療を推進し、がんゲノム医療連携病院としての機能の充実に努める。</p> <p>② がん診療拠点病院として、がん医療の充実に努めるとともに患者支援についても、AYA世代のがん患者支援体制の強化として多職種で構成されるサポートチームによる啓発活動及びライフステージに沿った身体的・精神的・社会的支援の提供に努める。</p> <p>イ 脳卒中</p> <p>① 香取海匠医療圏における脳卒中連携ネットワークによる取組を推進し、発症急性期の患者に対して適切な画像診断及び血管内再開通療法や外科的治療が24時間提供できる体制を継続する。</p> <p>② SCU (脳卒中ケアユニット) において、より効率的な初期治療を提供し、早期からのリハビリテーション実施による早期離床に取り組む。</p> <table border="1" data-bbox="172 1482 926 1566"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値 (各年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SCUにおける初回リハ実施時の離床率</td> <td>75.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※離床の定義は、「安全面に配慮した起立」とし、医師の指示により立位が禁止の場合や効果が得られないと判断された場合は対象外とする。</p> <p>ウ 心筋梗塞等の心血管疾患</p> <p>① 急性期を担う医療機関として、専門的な治療が行える体制を確保しカテーテル治療等を24時間行うことのできる体制の維持及び治療効果・安全性の向上に努める。</p> <p>② 診断・治療後の患者の状態に応じたリハビリテーションを実施し、日本心臓リハビリテーション学会優良認定プログラム施設として適切なリハビリテーションの提供に努める。</p>	項目	目標値 (各年度)	SCUにおける初回リハ実施時の離床率	75.0%以上	<p>(4) 5疾病に対する取組</p> <p>ア がん</p> <p>① がんゲノム医療を推進し、がんゲノム医療連携病院としての機能の充実に努める。</p> <p>② がん診療拠点病院として、がん医療の充実に努めるとともに患者支援についてもAYA世代のがん患者支援体制の強化として多職種で構成されるサポートチームによる啓発活動及びライフステージに沿った身体的・精神的・社会的支援の提供に努める。</p> <p>イ 脳卒中</p> <p>① 香取海匠医療圏における脳卒中連携ネットワークによる取組を推進し、発症急性期の患者に対して適切な画像診断及び血管内再開通療法や外科的治療が24時間提供できる体制を継続する。</p> <p>② SCU (脳卒中ケアユニット) において、より効率的な初期治療を提供し、早期からのリハビリテーション実施による早期離床に取り組む。</p> <table border="1" data-bbox="1012 1482 1801 1566"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SCUにおける初回リハ実施時の離床率</td> <td>75.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※離床の定義は、「安全面に配慮した起立」とし、医師の指示により立位が禁止の場合や効果が得られないと判断された場合は対象外とする。</p> <p>ウ 心筋梗塞等の心血管疾患</p> <p>① 急性期を担う医療機関として、専門的な治療が行える体制を確保しカテーテル治療等を24時間行うことのできる体制の維持及び治療効果・安全性の向上に努める。</p> <p>② 診断・治療後の患者の状態に応じたリハビリテーションを実施し、日本心臓リハビリテーション学会優良認定プログラム施設として適切なリハビリテーションの提供に努める。</p>	項目	目標値	SCUにおける初回リハ実施時の離床率	75.0%以上	<p>(4) 5疾病に対する取組</p> <p>ア がん</p> <p>① がんゲノム医療を推進し、がんゲノム医療連携病院としての機能の充実に努める。</p> <p>② がん診療拠点病院として、がん医療の充実に努めるとともに患者支援についてもAYA世代のがん患者支援体制の強化として多職種で構成されるサポートチームによる啓発活動及びライフステージに沿った身体的・精神的・社会的支援の提供に努める。</p> <p>イ 脳卒中</p> <p>① 香取海匠医療圏における脳卒中連携ネットワークによる取組を推進し、発症急性期の患者に対して適切な画像診断及び血管内再開通療法や外科的治療が24時間提供できる体制を継続する。</p> <p>② SCU (脳卒中ケアユニット) において、より効率的な初期治療を提供し、早期からのリハビリテーション実施による早期離床に取り組む。</p> <table border="1" data-bbox="1961 1476 2757 1560"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SCUにおける初回リハ実施時の離床率</td> <td>75.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※離床の定義は、「安全面に配慮した起立」とし、医師の指示により立位が禁止の場合や効果が得られないと判断された場合は対象外とする。</p> <p>ウ 心筋梗塞等の心血管疾患</p> <p>① 急性期を担う医療機関として、専門的な治療が行える体制を確保しカテーテル治療等を24時間行うことのできる体制の維持及び治療効果・安全性の向上に努める。</p> <p>② 診断・治療後の患者の状態に応じたリハビリテーションを実施し、日本心臓リハビリテーション学会優良認定プログラム施設として適切なリハビリテーションの提供に努める。</p>	項目	目標値	SCUにおける初回リハ実施時の離床率	75.0%以上																								
項目	目標値 (各年度)																																					
SCUにおける初回リハ実施時の離床率	75.0%以上																																					
項目	目標値																																					
SCUにおける初回リハ実施時の離床率	75.0%以上																																					
項目	目標値																																					
SCUにおける初回リハ実施時の離床率	75.0%以上																																					

第3期中期計画	令和6年度計画	令和7年度計画																														
<table border="1" data-bbox="157 111 908 243"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値（各年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心肺運動負荷試験に基づく運動処方</td> <td>50件以上</td> </tr> <tr> <td>外来回復期心臓リハビリテーション</td> <td>50件以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 糖尿病</p> <p>① 旭市、千葉大学、ノボ社によるCCDプロジェクトと連携し、地域の糖尿病患者の重症化予防に努め、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを推進する。</p> <p>② 多職種からなる糖尿病サポートチームの活動を推進し、糖尿病に関する啓発・教育活動を継続して実施する。</p> <p>オ 精神疾患</p> <p>① 近隣医療機関では対応が難しい緊急性が高く重症な精神疾患患者を受け入れる精神科救急病棟の治療体制を継続する。</p> <table border="1" data-bbox="181 632 931 716"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値（各年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クロザピン（新規導入）</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 多機能型多職種チーム医療を推進するとともに、保健・福祉との連携の充実に努め、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム（にも包括）の構築に取り組む。</p>	項目	目標値（各年度）	心肺運動負荷試験に基づく運動処方	50件以上	外来回復期心臓リハビリテーション	50件以上	項目	目標値（各年度）	クロザピン（新規導入）	6件	<table border="1" data-bbox="1020 111 1771 243"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心肺運動負荷試験に基づく運動処方</td> <td>50件以上</td> </tr> <tr> <td>外来回復期心臓リハビリテーション</td> <td>50件以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 糖尿病</p> <p>① CCDプロジェクトによる取組として、市内共通の栄養指導パンフレットを用いた栄養指導を実施するとともに、糖尿病連携手帳をより活用することにより、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを推進する。</p> <p>② 多職種からなる糖尿病サポートチームの活動を推進し、糖尿病に関する啓発・教育活動を継続して実施する。</p> <p>オ 精神疾患</p> <p>① 近隣医療機関では対応が難しい緊急性が高く重症な精神疾患患者を受け入れる精神科救急病棟の治療体制を継続する。</p> <table border="1" data-bbox="1032 632 1783 716"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クロザピン（新規導入）</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 多機能型多職種チーム医療を推進するとともに、保健・福祉との連携の充実に努め、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム（にも包括）の構築に取り組む。</p>	項目	目標値	心肺運動負荷試験に基づく運動処方	50件以上	外来回復期心臓リハビリテーション	50件以上	項目	目標値	クロザピン（新規導入）	6件	<table border="1" data-bbox="1976 111 2727 243"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心肺運動負荷試験に基づく運動処方</td> <td>50件以上</td> </tr> <tr> <td>外来回復期心臓リハビリテーション</td> <td>50件以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 糖尿病</p> <p>① CCDプロジェクトによる取組として、市内共通の栄養指導パンフレットを用いた栄養指導を実施するとともに、糖尿病連携手帳をより活用することにより、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを推進する。</p> <p>② 多職種からなる糖尿病サポートチームの活動を推進し、糖尿病に関する啓発・教育活動を継続して実施する。</p> <p>オ 精神疾患</p> <p>① 近隣医療機関では対応が難しい緊急性が高く重症な精神疾患患者を受け入れる精神科救急病棟の治療体制を継続する。</p> <table border="1" data-bbox="1988 632 2739 716"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クロザピン（新規導入）</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 多機能型多職種チーム医療を推進するとともに、保健・福祉との連携の充実に努め、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム（にも包括）の構築に取り組む。</p>	項目	目標値	心肺運動負荷試験に基づく運動処方	50件以上	外来回復期心臓リハビリテーション	50件以上	項目	目標値	クロザピン（新規導入）	6件
項目	目標値（各年度）																															
心肺運動負荷試験に基づく運動処方	50件以上																															
外来回復期心臓リハビリテーション	50件以上																															
項目	目標値（各年度）																															
クロザピン（新規導入）	6件																															
項目	目標値																															
心肺運動負荷試験に基づく運動処方	50件以上																															
外来回復期心臓リハビリテーション	50件以上																															
項目	目標値																															
クロザピン（新規導入）	6件																															
項目	目標値																															
心肺運動負荷試験に基づく運動処方	50件以上																															
外来回復期心臓リハビリテーション	50件以上																															
項目	目標値																															
クロザピン（新規導入）	6件																															
<p>(5) 災害時医療、感染症医療、周産期医療及び小児医療（小児救急医療を含む。）等への取組</p> <p>ア 災害時医療</p> <p>① 基幹災害拠点病院として様々な災害に対応し、的確な対策が実施できるように事業継続計画（BCP）の適宜見直しと適切な運用に努める。</p> <p>② 災害発生時の患者受け入れ体制等を整備し、適切な医療を提供するため、市などの行政機関や近隣医療機関等を交えた訓練を実施し、迅速に対応ができる体制を継続する。</p> <p>イ 新興感染症等への取組</p> <p>① 千葉県との協定に基づき有事の感染症病床を明確化し確保するとともに、新興感染症患者の発生、まん延時においても診療が滞ることなく治療が提供できるよう新興感染症患者発生時における診療継続計画の定期的な見直しと適切な運用に努める。</p> <p>② 当医療圏唯一の第二種感染症指定医療機関として、近隣医療機関との連携を推進し、感染症医療における情報発信及び共有を図る。</p> <p>ウ 周産期医療</p> <p>① 地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク分娩への対応や母体搬送及び新生児搬送の受け入れを行う体制を継続するとともに、NICU・GCUを維持し周産期医療の充実に努める。</p> <p>② 極低出生体重児及び極早産児に対して、入院中から適切な理学療法を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="172 1734 923 1818"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値（各年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法実施率</td> <td>90.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 小児医療（小児救急医療を含む。）</p> <p>① 小児救急医療拠点病院として、小児救急患者に対して高度で専門的な治療が行える体制を継続する。</p>	項目	目標値（各年度）	理学療法実施率	90.0%以上	<p>(5) 災害時医療、感染症医療、周産期医療及び小児医療（小児救急医療を含む。）等への取組</p> <p>ア 災害時医療</p> <p>① 基幹災害拠点病院として様々な災害に対応し、的確な対策が実施できるように事業継続計画（BCP）の適宜見直しと適切な運用に努める。</p> <p>② 災害発生時の患者受け入れ体制等を整備し、適切な医療を提供するため、市などの行政機関や近隣医療機関等を交えた訓練を実施し、迅速に対応ができる体制を継続する。</p> <p>イ 新興感染症等への取組</p> <p>① 千葉県との協定に基づき有事の感染症病床を明確化し確保するとともに、新興感染症患者の発生、まん延時においても診療が滞ることなく治療が提供できるよう新興感染症患者発生時における診療継続計画の定期的な見直しと適切な運用に努める。</p> <p>② 当医療圏唯一の第二種感染症指定医療機関として、近隣医療機関との連携を推進し、感染症医療における情報発信及び共有を図る。</p> <p>ウ 周産期医療</p> <p>① 地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク分娩への対応や母体搬送及び新生児搬送の受け入れを行う体制を継続するとともに、NICU・GCUを維持し周産期医療の充実に努める。</p> <p>② 極低出生体重児及び極早産児に対して、入院中から適切な理学療法を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="1020 1734 1771 1818"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法実施率</td> <td>90.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 小児医療（小児救急医療を含む。）</p> <p>① 小児救急医療拠点病院として、小児救急患者に対して高度で専門的な治療が行える体制を継続する。</p>	項目	目標値	理学療法実施率	90.0%以上	<p>(5) 災害時医療、感染症医療、周産期医療及び小児医療（小児救急医療を含む。）等への取組</p> <p>ア 災害時医療</p> <p>① 基幹災害拠点病院として様々な災害に対応し、的確な対策が実施できるように事業継続計画（BCP）の適宜見直しと適切な運用に努める。</p> <p>② 災害発生時の患者受け入れ体制等を整備し、適切な医療を提供するため、市などの行政機関や近隣医療機関等を交えた訓練を実施し、迅速に対応ができる体制を継続する。</p> <p>イ 新興感染症等への取組</p> <p>① 千葉県との協定に基づき有事の感染症病床を明確化し確保するとともに、新興感染症患者の発生、まん延時においても診療が滞ることなく治療が提供できるよう新興感染症患者発生時における診療継続計画の定期的な見直しと適切な運用に努める。</p> <p>② 当医療圏唯一の第二種感染症指定医療機関として、近隣医療機関との連携を推進し、感染症医療における情報発信及び共有を図る。</p> <p>ウ 周産期医療</p> <p>① 地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク分娩への対応や母体搬送及び新生児搬送の受け入れを行う体制を継続するとともに、NICU・GCUを維持し周産期医療の充実に努める。</p> <p>② 極低出生体重児及び極早産児に対して、入院中から適切な理学療法を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="1976 1734 2727 1818"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法実施率</td> <td>90.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 小児医療（小児救急医療を含む。）</p> <p>① 小児救急医療拠点病院として、小児救急患者に対して高度で専門的な治療が行える体制を継続する。</p>	項目	目標値	理学療法実施率	90.0%以上																		
項目	目標値（各年度）																															
理学療法実施率	90.0%以上																															
項目	目標値																															
理学療法実施率	90.0%以上																															
項目	目標値																															
理学療法実施率	90.0%以上																															

第3期中期計画	令和6年度計画	令和7年度計画																														
<p>② 重症患者や慢性疾患の管理等、感染対策等を徹底し患者や保護者へ質及び満足度の高い医療の提供に努める。</p> <p>(6) 高齢者医療への取組 ア 認知症疾患医療センターとして、関係各機関や患者に対し、認知症疾患に関する啓発活動や治療等の周知に努め、新たな認知症疾患修飾薬の認可に伴う投与適応のための適切な検査の実施及び治療の提供が行える体制を整備するとともに、県内における認知症治療の拠点病院となることを目指す。 イ フレイルや循環器疾患等の高齢者に多い疾患について、行政、地域の医療機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、介護・福祉施設等と連携して健康教育や地域リハビリテーション支援活動を継続して実施する。</p> <p>(7) 医療安全対策及び院内感染防止対策の徹底 ア 医療安全 ① 職員の医療安全文化の醸成に引き続き努め、チームステップスを実践した医療安全活動を推進する。 ② 報告されたインシデント及びアクシデントレポートに基づく対策を検討のうえ、改善に繋げてPDCAサイクルを回す。 ③ 院内急変患者に対して迅速に対応できるRRS（ラピッドレスポンスシステム）に関する研修会の開催と事例検討によるシステムの周知に努める。</p> <table border="1" data-bbox="189 919 937 1045"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値（各年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会（事例検討含む）</td> <td>2回以上</td> </tr> <tr> <td>RRS介入件数（コール+相談件数）</td> <td>100件以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 院内感染対策の徹底 ① 院内感染対策委員会及び感染対策室が主体となり、感染対策の基本的な考え方及び具体的な方策についての研修会を引き続き開催するとともに、感染対策チームのラウンドによる実施確認を行い、院内感染対策の更なる充実に努める。</p> <table border="1" data-bbox="189 1268 937 1352"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値（各年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染研修会受講率</td> <td>90.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 医療関連感染サーベイランスを実践し、サーベイランスの結果に基づく改善活動を推進する。 ③ 適正な感染症医療提供体制の推進に努め、エビデンスに基づいた抗菌薬の使用を徹底する。</p>	項目	目標値（各年度）	研修会（事例検討含む）	2回以上	RRS介入件数（コール+相談件数）	100件以上	項目	目標値（各年度）	感染研修会受講率	90.0%以上	<p>② 重症患者や慢性疾患の管理等、感染対策等を徹底し患者や保護者へ質及び満足度の高い医療の提供に努める。</p> <p>(6) 高齢者医療への取組 ア 認知症疾患医療センターとして、関係各機関や患者に対し、認知症疾患に関する啓発活動や治療等の周知に努め、新たな認知症疾患修飾薬の認可に伴う投与適応のための適切な検査の実施及び治療の提供が行える体制を整備する。</p> <p>イ フレイルや循環器疾患等の高齢者に多い疾患について、行政、地域の医療機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、介護・福祉施設等と連携して健康教育や地域リハビリテーション支援活動を継続して実施する。</p> <p>(7) 医療安全対策及び院内感染防止対策の徹底 ア 医療安全 ① 職員の医療安全文化の醸成に引き続き努め、チームステップスを実践した医療安全活動を推進する。 ② 報告されたインシデント及びアクシデントレポートに基づく対策を検討のうえ、改善に繋げてPDCAサイクルを回す。 ③ 院内急変患者に対して迅速に対応できるRRS（ラピッドレスポンスシステム）に関する研修会の開催と事例検討によるシステムの周知に努める。</p> <table border="1" data-bbox="1032 919 1780 1045"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会（事例検討含む）</td> <td>2回以上</td> </tr> <tr> <td>RRS介入件数（コール+相談件数）</td> <td>100件以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 院内感染対策の徹底 ① 院内感染対策委員会及び感染対策室が主体となり、感染対策の基本的な考え方及び具体的な方策についての研修会を引き続き開催するとともに、感染対策チームのラウンドによる実施確認を行い、院内感染対策の更なる充実に努める。</p> <table border="1" data-bbox="1032 1268 1780 1352"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染研修会受講率</td> <td>90.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 医療関連感染サーベイランスを実践し、サーベイランスの結果に基づく改善活動を推進する。 ③ 適正な感染症医療提供体制の推進に努め、エビデンスに基づいた抗菌薬の使用を徹底する。</p>	項目	目標値	研修会（事例検討含む）	2回以上	RRS介入件数（コール+相談件数）	100件以上	項目	目標値	感染研修会受講率	90.0%以上	<p>② 重症患者や慢性疾患の管理等、感染対策等を徹底し患者や保護者へ質及び満足度の高い医療の提供に努める。</p> <p>(6) 高齢者医療への取組 ア 認知症疾患医療センターとして、関係各機関や患者に対し、認知症疾患に関する啓発活動や治療等の周知に努め、適切な検査の実施及び治療の提供が行える体制を整備する。</p> <p>イ フレイルや循環器疾患等の高齢者に多い疾患について、行政、地域の医療機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、介護・福祉施設等と連携して健康教育や地域リハビリテーション支援活動を継続して実施する。</p> <p>(7) 医療安全対策及び院内感染防止対策の徹底 ア 医療安全 ① 職員の医療安全文化の醸成に引き続き努め、チームステップスを実践した医療安全活動を推進する。 ② 報告されたインシデント及びアクシデントレポートに基づく対策を検討のうえ、改善に繋げてPDCAサイクルを回す。 ③ 院内急変患者に対して迅速に対応できるRRS（ラピッドレスポンスシステム）に関する研修会の開催と事例検討によるシステムの周知に努める。</p> <table border="1" data-bbox="1976 919 2754 1045"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会（事例検討含む）</td> <td>2回以上</td> </tr> <tr> <td>RRS介入件数（コール+相談件数）</td> <td>100件以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 院内感染対策の徹底 ① 院内感染対策委員会及び感染対策室が主体となり、感染対策の基本的な考え方及び具体的な方策についての研修会を引き続き開催するとともに、感染対策チームのラウンドによる実施確認を行い、院内感染対策の更なる充実に努める。</p> <table border="1" data-bbox="1976 1247 2754 1331"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染研修会受講率</td> <td>90.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 医療関連感染サーベイランスを実践し、サーベイランスの結果に基づく改善活動を推進する。 ③ 適正な感染症医療提供体制の推進に努め、エビデンスに基づいた抗菌薬の使用を徹底する。</p>	項目	目標値	研修会（事例検討含む）	2回以上	RRS介入件数（コール+相談件数）	100件以上	項目	目標値	感染研修会受講率	90.0%以上
項目	目標値（各年度）																															
研修会（事例検討含む）	2回以上																															
RRS介入件数（コール+相談件数）	100件以上																															
項目	目標値（各年度）																															
感染研修会受講率	90.0%以上																															
項目	目標値																															
研修会（事例検討含む）	2回以上																															
RRS介入件数（コール+相談件数）	100件以上																															
項目	目標値																															
感染研修会受講率	90.0%以上																															
項目	目標値																															
研修会（事例検討含む）	2回以上																															
RRS介入件数（コール+相談件数）	100件以上																															
項目	目標値																															
感染研修会受講率	90.0%以上																															
<p>2 患者等のサービスの向上</p> <p>(1) Q I 分析、医療DX等による医療の質の向上 ア より質の高い医療の提供に努めるため、QIの算出及び分析に取り組み継続性のある医療の質向上に努める。 イ 医療DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、薬剤調製ロボットやAI画像診断等の先進技術の導入による効率化及び医療の質の向上に努める。また、国が推進するマイナンバーカードの健康保険証利用、電子処方箋事業に適切に対応するとともに、その他の有益な患者サービスについて検討する。</p>	<p>2 患者等のサービスの向上</p> <p>(1) Q I 分析、医療DX等による医療の質の向上 ア より質の高い医療の提供に努めるため、QIの算出及び分析に取り組み継続性のある医療の質向上に努める。 イ 抗がん薬調製ロボットの導入による業務の効率化、AI画像診断等による医療の質の向上に努める。また、国が推進するマイナ保険証、電子処方箋事業に適切に対応するとともに、その他の有益な患者サービスについて検討する。</p>	<p>2 患者等のサービスの向上</p> <p>(1) Q I 分析、医療DX等による医療の質の向上 ア より質の高い医療の提供に努めるため、QIの算出及び分析に取り組み継続性のある医療の質向上に努める。 イ 抗がん薬調製ロボットの活用による業務の効率化、AI画像診断等による医療の質の向上に引き続き努める。また、国が推進するマイナ保険証、電子処方箋事業に適切に対応するとともに、PHR等の有益な患者サービスについて検討する。</p>																														

第3期中期計画	令和6年度計画	令和7年度計画
<p>(2) 患者等の満足度の向上 ア 継続して患者満足度調査を行い、当院に対する患者等のニーズや医療スタッフの接遇状況等を分析し、医療の質とサービスの向上に努める。 イ 患者満足度調査や診療待ち時間等を可視化することによる実態の分析と改善策の検討を行い、満足度の向上と待ち時間の短縮に引き続き努める。</p>	<p>(2) 患者等の満足度の向上 ア 継続して患者満足度調査を行い、当院に対する患者等のニーズや医療スタッフの接遇状況等を分析し、医療の質とサービスの向上に努める。 イ 患者満足度調査や診療待ち時間等を可視化することによる実態の分析と改善策の検討を行い、満足度の向上と待ち時間の短縮に引き続き努める。</p>	<p>(2) 患者等の満足度の向上 ア 継続して患者満足度調査を行い、当院に対する患者等のニーズや医療スタッフの接遇状況等を分析し、医療の質とサービスの向上に努める。 イ 患者満足度調査や診療待ち時間等を可視化することによる実態の分析と改善策の検討を行い、満足度の向上と待ち時間の短縮に引き続き努める。</p>
<p>(3) 第三者評価とPDCAサイクルの実施 ア ISO9001や病院機能評価などの第三者評価受審による質改善活動を継続して実施することにより、PDCAサイクルを回す。</p>	<p>(3) 第三者評価とPDCAサイクルの実施 ア ISO9001や病院機能評価などの第三者評価受審による質改善活動を継続して実施することにより、PDCAサイクルを回す。</p>	<p>(3) 第三者評価とPDCAサイクルの実施 ア ISO9001や病院機能評価などの第三者評価受審による質改善活動を継続して実施することにより、PDCAサイクルを回す。</p>
<p>3 市の施策推進における役割の発揮</p>	<p>3 市の施策推進における役割の発揮</p>	<p>3 市の施策推進における役割の発揮</p>
<p>(1) 予防医療への取組 ア 市民健康講座及び健康づくり出前講座、病院まつり等のイベントを継続して実施し、地域住民の健康増進及び健康意識の向上に継続して寄与するよう努める。 イ 予防医学研究センターにおいて、受診者に対する保健指導や健康に対する啓発活動の充実に努める。</p>	<p>(1) 予防医療への取組 ア 市民健康講座及び健康づくり出前講座、病院まつり等のイベントを継続して実施し、地域住民の健康増進及び健康意識の向上に継続して寄与するよう努める。 イ 予防医学研究センターにおいて、受診者に対する保健指導や健康に対する啓発活動の充実に努める。</p>	<p>(1) 予防医療への取組 ア 市民健康講座及び健康づくり出前講座、病院まつり等のイベントを継続して実施し、地域住民の健康増進及び健康意識の向上に継続して寄与するよう努める。 イ 予防医学センターにおいて、受診者に対する保健指導や健康に対する啓発活動の充実及び1日ドックの予約枠拡充等、受診者数に応じた稼働率の向上に努める。</p>
<p>(2) 適切な保健医療情報等の提供・発信 ア 病院広報誌、旭市広報誌やホームページ等を通じ、病院利用者等へ適切な医療情報等の発信を継続する。</p>	<p>(2) 適切な保健医療情報等の提供・発信 ア 病院広報誌、旭市広報誌やホームページ等を通じ、病院利用者等へ適切な医療情報等の発信を継続する。</p>	<p>(2) 適切な保健医療情報等の提供・発信 ア 病院広報誌、旭市広報誌やホームページ等を通じ、病院利用者等へ適切な医療情報等の発信を継続する。</p>
<p>(3) 市の施策への連携・協力 ア 生涯活躍のまち推進協議会等へ参加し、事業者等と連携して、まちづくりプランの普及啓発活動や魅力あるまちづくりへ協力する。 イ 医療に加え介護・福祉の提供については、市と連携・調整を図り、市の方針に沿って効果的な取組を実施する。</p>	<p>(3) 市の施策への連携・協力 ア 生涯活躍のまち推進協議会等へ参加するとともに、豊かな未来を創造するためにまちづくりプランの普及啓発活動や各企画への参加等、魅力あるまちづくりへ協力する。 イ 医療に加え介護・福祉の提供については、市と連携・調整を図り、市の方針に沿って効果的な取組を実施する。</p>	<p>(3) 市の施策への連携・協力 ア 生涯活躍のまち推進協議会等へ参加するとともに、豊かな未来を創造するためにまちづくりプランの普及啓発活動や各企画への参加等、魅力あるまちづくりへ協力する。 イ 医療に加え介護・福祉の提供については、市と連携・調整を図り、市の方針に沿って効果的な取組を実施する。</p>
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する措置</p>	<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する措置</p>	<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する措置</p>
<p>1 人材確保と働き方改革</p>	<p>1 人材確保と働き方改革</p>	<p>1 人材確保と働き方改革</p>
<p>(1) 医師の働き方改革への取組 ア 医師労働時間短縮計画に基づき、医師の労働時間短縮に向けた取り組みを計画的に進める。</p>	<p>(1) 医師の働き方改革への取組 ア 医師労働時間短縮計画に基づき、医師の労働時間短縮に向けた取り組みを医師の働き方改革のスタートに伴い実施する。</p>	<p>(1) 医師の働き方改革への取組 ア 医師労働時間短縮計画に基づき、医師の労働時間短縮に向けた取り組みを医師の働き方改革のスタートに伴い実施する。</p>
<p>(2) 医師（研修医含む）・看護師等の専門職の確保・育成 ア 医師（研修医含む） ① 医師の働き方改革に適切に対応するとともに、規定された時間内での研修目標達成を目指し、初期臨床研修医の確保に努める。 ② 新専門医制度の専門研修基幹施設及び専門研修連携施設として、専攻医の確保に努める。 ③ 病院運営の基本となる医師の確保を推進するため、初期研修医等の若手医師が入居する医師宿舎について早急に整備を行う。</p>	<p>(2) 医師（研修医含む）・看護師等の専門職の確保・育成 ア 医師（研修医含む） ① 医師の働き方改革に適切に対応するとともに、規定された時間内での研修目標達成を目指し、初期臨床研修医の確保に努める。 ② 新専門医制度の専門研修基幹施設及び専門研修連携施設として、専攻医の確保に努める。 ③ 病院運営の基本となる医師の確保を推進するため、初期研修医等の若手医師が入居する医師宿舎について早急に基本設計、実施設計をとりまとめ整備を進める。</p>	<p>(2) 医師（研修医含む）・看護師等の専門職の確保・育成 ア 医師（研修医含む） ① 医師の働き方改革に適切に対応するとともに、規定された時間内での研修目標達成を目指し、初期臨床研修医の確保に努める。 ② 新専門医制度の専門研修基幹施設及び専門研修連携施設として、専攻医の確保に努める。 ③ 病院運営の基本となる医師の確保を推進するため、初期研修医等の若手医師が入居する医師宿舎について整備を進める。</p>

第3期中期計画	令和6年度計画	令和7年度計画												
<p>イ 看護師</p> <p>① 附属の看護専門学校や経験者の中途採用及びEPA看護師の活用等、柔軟な採用方法により看護職員の確保に努める。</p> <table border="1" data-bbox="184 220 937 306"> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>看護師数</td> <td>950名</td> </tr> </table> <p>② 認定看護師等、専門領域の人材育成を推進し、患者のニーズに適切に対応できる、より専門性の高い看護ケアの提供に努める。</p> <p>③ 医師宿舍の整備後の状況を踏まえ、看護師宿舍についても必要性に応じ改修等、整備を行う。</p> <p>ウ 医療技術職員・介護職員の確保・育成</p> <p>① 診療体制の変更や医療機器等の配置計画に即した医療技術職員・介護職員の確保を継続する。</p> <p>② 薬剤師の確保を推進し、各専門領域の薬剤師育成に努め、薬剤師のチーム医療への関わりを充実させる。</p> <p>エ 事務職員等の確保・育成</p> <p>① 経験者採用など多様な手法の導入を検討し、病院運営をサポートできる事務職員の確保に努める。</p> <p>② 専門的な業務を担うスペシャリストの育成を行うため、資格取得等に向けた支援を行う。</p>	項目	目標値	看護師数	950名	<p>イ 看護師</p> <p>① 附属の看護専門学校や経験者の中途採用及びEPA看護師の活用等、柔軟な採用方法により看護職員の確保に努める。</p> <table border="1" data-bbox="1020 220 1774 306"> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>看護師数</td> <td>950名</td> </tr> </table> <p>② 認定看護師等、専門領域の人材育成を推進し、患者のニーズに適切に対応できる、より専門性の高い看護ケアの提供に努める。</p> <p>③ 医師宿舍の整備後の状況を踏まえ、看護師宿舍についても必要性に応じ改修等、整備を行う。</p> <p>ウ 医療技術職員・介護職員の確保・育成</p> <p>① 診療体制の変更や医療機器等の配置計画に即した医療技術職員・介護職員の確保を継続する。</p> <p>② 薬剤師の確保を推進し、各専門領域の薬剤師育成に努め、薬剤師のチーム医療への関わりを充実させる。</p> <p>エ 事務職員等の確保・育成</p> <p>① 経験者採用など多様な手法の導入を検討し、病院運営をサポートできる事務職員の確保に努める。</p> <p>② 専門的な業務を担うスペシャリストの育成を行うため、資格取得等に向けた支援を行う。</p>	項目	目標値	看護師数	950名	<p>イ 看護師</p> <p>① 附属の看護専門学校や経験者の中途採用及びEPA看護師の活用等、柔軟な採用方法により看護職員の確保に努める。</p> <table border="1" data-bbox="1964 220 2718 306"> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>看護師数</td> <td>950名</td> </tr> </table> <p>② 認定看護師等、専門領域の人材育成を推進し、患者のニーズに適切に対応できる、より専門性の高い看護ケアの提供に努める。</p> <p>③ 医師宿舍の整備後の状況を踏まえ、看護師宿舍についても必要性に応じ改修等、整備を行う。</p> <p>ウ 医療技術職員・介護職員の確保・育成</p> <p>① 診療体制の変更や医療機器等の配置計画に即した医療技術職員・介護職員の確保を継続する。</p> <p>② 薬剤師の確保を推進し、各専門領域の薬剤師育成に努め、薬剤師のチーム医療への関わりを充実させる。</p> <p>エ 事務職員等の確保・育成</p> <p>① 経験者採用など多様な手法の導入を検討し、病院運営をサポートできる事務職員の確保に努める。</p> <p>② 専門的な業務を担うスペシャリストの育成を行うため、資格取得等に向けた支援を行う。</p>	項目	目標値	看護師数	950名
項目	目標値													
看護師数	950名													
項目	目標値													
看護師数	950名													
項目	目標値													
看護師数	950名													
<p>(3) 職員の就業環境の整備</p> <p>ア 生産年齢人口減少に伴う人材確保や、多様なライフスタイルに柔軟に対応するため、将来を見据えた雇用制度（定年制等）の検討を進める。</p> <p>イ 働き方改革関連法を踏まえ、職員の働きやすい職場を実現するため、時間外勤務の縮減や有給休暇、育児・介護休暇等の取得を推進し、就業環境の整備に努める。</p> <p>ウ 職場における様々なハラスメント防止に取り組むとともに、ストレスチェック等のメンタルヘルス対策を実施する。</p>	<p>(3) 職員の就業環境の整備</p> <p>ア 生産年齢人口減少に伴う人材確保や、多様なライフスタイルに柔軟に対応するため、将来を見据えた雇用制度（定年制等）の検討を行う。</p> <p>イ 働き方改革関連法を踏まえ、職員の働きやすい職場を実現するため、時間外勤務の縮減や有給休暇、育児・介護休暇等の取得を推進し、就業環境の整備に努める。</p> <p>ウ 職場における様々なハラスメント防止に取り組むとともに、ストレスチェック等のメンタルヘルス対策を実施する。</p>	<p>(3) 職員の就業環境の整備</p> <p>ア 生産年齢人口減少に伴う人材確保や、多様なライフスタイルに柔軟に対応するため、将来を見据えた雇用制度（定年制等）の検討を行う。</p> <p>イ 働き方改革関連法を踏まえ、職員の働きやすい職場を実現するため、時間外勤務の縮減や有給休暇、育児・介護休暇等の取得を推進し、就業環境の整備に努める。</p> <p>ウ 職場における様々なハラスメント防止に取り組むとともに、ストレスチェック等のメンタルヘルス対策を実施する。</p>												
<p>2 ガバナンスの強化</p> <p>(1) 組織マネジメントと内部統制の充実</p> <p>ア 理事会、経営管理会議を定期的開催し、効率的な業務執行体制を堅持する。</p> <p>イ 法人の健全な経営に資するため監査法人・監事との連携を図り、内部監査室において内部監査を実施し、業務における法令等への準拠性及び仕組み・プロセス等を点検・評価し、業務の適正化と効率化を図る。</p> <p>(2) コンプライアンスの徹底</p> <p>ア 法令・院内規則及び行動規範の遵守の徹底を目指し、職員向けに研修会を開催する。</p> <p>(3) 情報管理体制の徹底</p> <p>ア 情報セキュリティの重要性を認識できるよう、研修会を開催するとともに、サイバーセキュリティ対策を強化する。</p>	<p>2 ガバナンスの強化</p> <p>(1) 組織マネジメントと内部統制の充実</p> <p>ア 理事会、経営管理会議を定期的開催し、効率的な業務執行体制を堅持する。</p> <p>イ 法人の健全な経営に資するため監査法人・監事との連携を図り、内部監査室において内部監査を実施し、業務における法令等への準拠性及び仕組み・プロセス等を点検・評価し、業務の適正化と効率化を図る。</p> <p>(2) コンプライアンスの徹底</p> <p>ア 法令・院内規則及び行動規範の遵守の徹底を目指し、職員向けに研修会を開催する。</p> <p>(3) 情報管理体制の徹底</p> <p>ア 情報セキュリティの重要性を認識できるよう、研修会を開催するとともに、サイバーセキュリティ対策を強化する。</p>	<p>2 ガバナンスの強化</p> <p>(1) 組織マネジメントと内部統制の充実</p> <p>ア 理事会、経営管理会議を定期的開催し、効率的な業務執行体制を堅持する。</p> <p>イ 法人の健全な経営に資するため監査法人・監事との連携を図り、内部監査室において内部監査を実施し、業務における法令等への準拠性及び仕組み・プロセス等を点検・評価し、業務の適正化と効率化を図る。</p> <p>(2) コンプライアンスの徹底</p> <p>ア 法令・院内規則及び行動規範の遵守の徹底を目指し、職員向けに研修会を開催する。</p> <p>(3) 情報管理体制の徹底</p> <p>ア 情報セキュリティの重要性を認識できるよう、研修会を開催するとともに、サイバーセキュリティ対策を強化する。</p>												

第3期中期計画	令和6年度計画	令和7年度計画																																																																																																																														
<p>3 安定的な経営基盤の構築</p> <p>(1) 健全経営に向けた取組 ア 人口動態、受療動向、周辺環境等を勘案し、最適な医療・看護提供体制を維持するための病院機能・規模について検討し、必要に応じて機能や施設・設備等の最適化を実施する。 イ 高度急性期病院として、安定的な経営を維持するための収入の確保に努め、下記の目標値達成に向け取り組む。</p> <table border="1" data-bbox="148 409 943 835"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>95.6%</td> <td>97.6%</td> <td>100.8%</td> <td>102.2%</td> </tr> <tr> <td>(修正) 医業収支比率</td> <td>101.7%</td> <td>103.5%</td> <td>107.3%</td> <td>109.2%</td> </tr> <tr> <td>1日当たり入院患者数（一般）</td> <td colspan="4">700人以上</td> </tr> <tr> <td>1日当たり外来患者数（一般）</td> <td colspan="4">2,300人以上</td> </tr> <tr> <td>病床利用率（一般）</td> <td colspan="4">90.0%以上</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数（一般除外有）</td> <td colspan="4">13.0日以下</td> </tr> <tr> <td>中央手術室手術件数</td> <td colspan="4">8,200件以上</td> </tr> <tr> <td>DPC医療機関群</td> <td colspan="4">特定病院群の維持</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 物価の上昇は、エネルギーをはじめ様々な分野に及んでおり、病院経営に必要な費用は増加の一途をたどる厳しい環境下にあるが、下記の数値を目標に可能な限り費用の節減に努める。</p> <table border="1" data-bbox="148 1029 943 1266"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費（医業+一般）対医業収益比率</td> <td>47.7%</td> <td>47.2%</td> <td>45.8%</td> <td>45.1%</td> </tr> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td colspan="4">35.0%</td> </tr> <tr> <td>経費（医業+一般）対医業収益比率</td> <td>18.1%</td> <td>17.1%</td> <td>16.0%</td> <td>15.7%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品数量シェア</td> <td colspan="4">90%以上を維持</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	経常収支比率	95.6%	97.6%	100.8%	102.2%	(修正) 医業収支比率	101.7%	103.5%	107.3%	109.2%	1日当たり入院患者数（一般）	700人以上				1日当たり外来患者数（一般）	2,300人以上				病床利用率（一般）	90.0%以上				平均在院日数（一般除外有）	13.0日以下				中央手術室手術件数	8,200件以上				DPC医療機関群	特定病院群の維持				項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	給与費（医業+一般）対医業収益比率	47.7%	47.2%	45.8%	45.1%	材料費対医業収益比率	35.0%				経費（医業+一般）対医業収益比率	18.1%	17.1%	16.0%	15.7%	後発医薬品数量シェア	90%以上を維持				<p>3 安定的な経営基盤の構築</p> <p>(1) 健全経営に向けた取組 ア 人口動態、受療動向、周辺環境等を勘案し、最適な医療・看護提供体制を維持するための病院機能・規模について検討し、必要に応じて機能や施設・設備等の最適化を実施する。 イ 高度急性期病院として、安定的な経営を維持するための収入の確保に努め、下記の目標値達成に向け取り組む。</p> <table border="1" data-bbox="1053 409 1757 844"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>95.6%</td> </tr> <tr> <td>(修正) 医業収支比率</td> <td>101.7%</td> </tr> <tr> <td>1日当たり入院患者数（一般）</td> <td>700人以上</td> </tr> <tr> <td>1日当たり外来患者数（一般）</td> <td>2,300人以上</td> </tr> <tr> <td>病床利用率（一般）</td> <td>90.0%以上</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数（一般除外有）</td> <td>13.0日以下</td> </tr> <tr> <td>中央手術室手術件数</td> <td>8,200件以上</td> </tr> <tr> <td>DPC医療機関群</td> <td>特定病院群の維持</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 物価の上昇は、エネルギーをはじめ様々な分野に及んでおり、病院経営に必要な費用は増加の一途をたどる厳しい環境下にあるが、下記の数値を目標に可能な限り費用の節減に努める。</p> <table border="1" data-bbox="1038 1029 1742 1266"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費（医業+一般）対医業収益比率</td> <td>47.7%</td> </tr> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td>35.0%</td> </tr> <tr> <td>経費（医業+一般）対医業収益比率</td> <td>18.1%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品数量シェア</td> <td>90%以上を維持</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標値	経常収支比率	95.6%	(修正) 医業収支比率	101.7%	1日当たり入院患者数（一般）	700人以上	1日当たり外来患者数（一般）	2,300人以上	病床利用率（一般）	90.0%以上	平均在院日数（一般除外有）	13.0日以下	中央手術室手術件数	8,200件以上	DPC医療機関群	特定病院群の維持	項目	目標値	給与費（医業+一般）対医業収益比率	47.7%	材料費対医業収益比率	35.0%	経費（医業+一般）対医業収益比率	18.1%	後発医薬品数量シェア	90%以上を維持	<p>3 安定的な経営基盤の構築</p> <p>(1) 健全経営に向けた取組 ア 人口動態、受療動向、周辺環境等を勘案し、最適な医療・看護提供体制を維持するための病院機能・規模について検討し、必要に応じて機能や施設・設備等の最適化を実施する。 イ 高度急性期病院として、安定的な経営を維持するための収入の確保に努め、下記の目標値達成に向け取り組む。</p> <table border="1" data-bbox="2003 409 2706 844"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>97.6%</td> </tr> <tr> <td>(修正) 医業収支比率</td> <td>103.5%</td> </tr> <tr> <td>1日当たり入院患者数（一般）</td> <td>700人以上</td> </tr> <tr> <td>1日当たり外来患者数（一般）</td> <td>2,300人以上</td> </tr> <tr> <td>病床利用率（一般）</td> <td>90.0%以上</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数（一般除外有）</td> <td>13.0日以下</td> </tr> <tr> <td>中央手術室手術件数（※）</td> <td>7,200件以上</td> </tr> <tr> <td>DPC医療機関群</td> <td>特定病院群の維持</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中期計画では8,200件以上</p> <p>ウ 物価の上昇は、エネルギーをはじめ様々な分野に及んでおり、病院経営に必要な費用は増加の一途をたどる厳しい環境下にあるが、下記の数値を目標に可能な限り費用の節減に努める。</p> <table border="1" data-bbox="2003 1029 2706 1266"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費（医業+一般）対医業収益比率</td> <td>47.2%</td> </tr> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td>35.0%</td> </tr> <tr> <td>経費（医業+一般）対医業収益比率</td> <td>17.1%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品数量シェア</td> <td>90%以上を維持</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標値	経常収支比率	97.6%	(修正) 医業収支比率	103.5%	1日当たり入院患者数（一般）	700人以上	1日当たり外来患者数（一般）	2,300人以上	病床利用率（一般）	90.0%以上	平均在院日数（一般除外有）	13.0日以下	中央手術室手術件数（※）	7,200件以上	DPC医療機関群	特定病院群の維持	項目	目標値	給与費（医業+一般）対医業収益比率	47.2%	材料費対医業収益比率	35.0%	経費（医業+一般）対医業収益比率	17.1%	後発医薬品数量シェア	90%以上を維持
項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																																																																												
経常収支比率	95.6%	97.6%	100.8%	102.2%																																																																																																																												
(修正) 医業収支比率	101.7%	103.5%	107.3%	109.2%																																																																																																																												
1日当たり入院患者数（一般）	700人以上																																																																																																																															
1日当たり外来患者数（一般）	2,300人以上																																																																																																																															
病床利用率（一般）	90.0%以上																																																																																																																															
平均在院日数（一般除外有）	13.0日以下																																																																																																																															
中央手術室手術件数	8,200件以上																																																																																																																															
DPC医療機関群	特定病院群の維持																																																																																																																															
項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																																																																												
給与費（医業+一般）対医業収益比率	47.7%	47.2%	45.8%	45.1%																																																																																																																												
材料費対医業収益比率	35.0%																																																																																																																															
経費（医業+一般）対医業収益比率	18.1%	17.1%	16.0%	15.7%																																																																																																																												
後発医薬品数量シェア	90%以上を維持																																																																																																																															
項目	目標値																																																																																																																															
経常収支比率	95.6%																																																																																																																															
(修正) 医業収支比率	101.7%																																																																																																																															
1日当たり入院患者数（一般）	700人以上																																																																																																																															
1日当たり外来患者数（一般）	2,300人以上																																																																																																																															
病床利用率（一般）	90.0%以上																																																																																																																															
平均在院日数（一般除外有）	13.0日以下																																																																																																																															
中央手術室手術件数	8,200件以上																																																																																																																															
DPC医療機関群	特定病院群の維持																																																																																																																															
項目	目標値																																																																																																																															
給与費（医業+一般）対医業収益比率	47.7%																																																																																																																															
材料費対医業収益比率	35.0%																																																																																																																															
経費（医業+一般）対医業収益比率	18.1%																																																																																																																															
後発医薬品数量シェア	90%以上を維持																																																																																																																															
項目	目標値																																																																																																																															
経常収支比率	97.6%																																																																																																																															
(修正) 医業収支比率	103.5%																																																																																																																															
1日当たり入院患者数（一般）	700人以上																																																																																																																															
1日当たり外来患者数（一般）	2,300人以上																																																																																																																															
病床利用率（一般）	90.0%以上																																																																																																																															
平均在院日数（一般除外有）	13.0日以下																																																																																																																															
中央手術室手術件数（※）	7,200件以上																																																																																																																															
DPC医療機関群	特定病院群の維持																																																																																																																															
項目	目標値																																																																																																																															
給与費（医業+一般）対医業収益比率	47.2%																																																																																																																															
材料費対医業収益比率	35.0%																																																																																																																															
経費（医業+一般）対医業収益比率	17.1%																																																																																																																															
後発医薬品数量シェア	90%以上を維持																																																																																																																															
<p>(2) 施設整備の最適化の検討、実施 ア 上記（1）アの検討を踏まえ、効率的・効果的な業務運営に寄与する施設・設備の新設や、既存施設の改修について適切な計画を策定のうえ実施する。 イ 耐震性が不足している建物および老朽化が進んでいる建物・設備に関して、必要な改修、整備について検討し実施する。 ウ 病院周辺駐車場及び構内施設について、渋滞が少なく駐車しやすい患者駐車場等の構内整備を引き続き実施する。</p>	<p>(2) 施設整備の最適化の検討、実施 ア 当院の果たすべき機能やニーズ等を踏まえ、効率的・効果的な業務運営に寄与する施設・設備の新設や、既存施設の改修について適切な計画を検討する。 イ 耐震性が不足している建物および老朽化が進んでいる建物・設備に関して、必要な改修、整備について検討する。 ウ 病院周辺駐車場及び構内施設について、渋滞が少なく駐車しやすい患者駐車場等の構内整備を検討する。</p>	<p>(2) 施設整備の最適化の検討、実施 ア 当院の果たすべき機能やニーズ等を踏まえ、効率的・効果的な業務運営に寄与する施設・設備の新設や、既存施設の改修について適切な計画を検討する。 イ 耐震性が不足している建物および老朽化が進んでいる建物・設備に関して、必要な改修、整備について検討する。 ウ 病院周辺駐車場及び構内施設について、渋滞が少なく駐車しやすい患者駐車場等の構内整備を検討する。</p>																																																																																																																														